

一歩を踏み出す日

4月20日は穀雨。

春の柔らかな雨に農作物がうるおうという意味があり、この時期に農作物の種をまくと、雨に恵まれ、よく成長すると言われていています。この時期は、一雨毎に植物の葉が一層鮮やかな緑色に染まり、花びらの色も赤やピンク・白など、とても美しい色を楽しませてくれます。

生徒の皆さんは、毎日の登下校で、この雨も嫌になるときもありますが、皆さんにとって水分補給はとても大切なものであるように、植物や動物たちの生命のためには、雨の恵が必要であるということだと思っています。雨に濡れて、一段と色が鮮やかに見える自然に、皆さんも目を向けてみてください。



さて、月曜日に、各委員会の委員長と学級委員の任命、そして、ソフトテニスの表彰を行いました。去年は、この朝礼が6月でした。今年は4月からスタートできたことをとてもうれしく思います。

3月に任命した生徒会役員と、今回任命した各委員会委員長、そして学級委員の皆さんが中心となって、これから祖父江中学校を支えるとともに、各学級で力を発揮してくれることを期待しています。全校の皆さんは、生徒会役員や委員長・学級委員をサポートしていきましょう。

未だ収束しない新型コロナウイルス感染症の広がりが心配されますが、皆さんが日々取り組んでいる新しい生活様式を守りながら生活し、そして、「どうしたらできるのか」という考えのもと、みんなで知恵を出し合って、学校のこと学級のことをよりよくしていこうとする様々な活動に関して、アイデアが提案されることを期待しています。

1800年の4月19日、伊能忠敬（いのう ただたか）が16年の年月をかけて完成に寄与した「大日本沿海輿地（よち）全図」いわゆる「伊能図」を作成するために、伊能忠敬が最初の一歩を踏み出した日とされています。

4月19日の任命式を境に、みなさんの学級・委員会・学校も大きな一歩を踏み出す日でもあります。

1年後、どのような学級・学校になってほしいのか、543名の祖中生、全員の知恵と力を結集し、祖父江中学校の素晴らしい未来を創造していきましょう。

保護者の皆様及び地域の皆様、昨年度に引き続き祖父江中学校の校長を務めます江寄浩央です。「生徒の真剣なまなざしと明るい笑顔」「おみそあじの効いた学校生活」をスローガンとし、「自分らしく 人のために 行動する」そのような思いやりあふれる学校をめざし、本年度も全教職員スタッフ一同、教育活動に邁進して参ります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。